国土交通大臣
大畠　章宏　殿

放射能量が高い下水汚泥の安全な処理方策等に係る緊急要望

平成２３年５月２日

福島県知事
佐藤　雄平

放射能量が高い下水汚泥の安全な処理方策等に係る緊急要望

福島県県中浄化センターの下水汚泥及び溶融処理したスラグから高濃度の放射性物質が４月３０日に検出された。

当該センターは県内で人口が集中する県中地区の市民生活維持のうえで大変重要な施設であり、下水汚泥を処理する溶融炉の継続運転及び放射能量が高い下水汚泥の最終処分の継続が必要不可欠である。

さらに、県内には６２箇所の下水処理場があり、同様の問題が強く懸念される。

以上のことから、次の点について至急示すよう緊急に要望する。

記

１　下水汚泥を処理する溶融炉を安全に運転する方策

２　溶融処理の結果生じるスラグやばいじんを安全に処理する方策

３　放射能量が高い下水汚泥を安全に処理する方策

４　再利用のため搬出した下水汚泥・スラグ及び最終処分場に搬出したばいじんの安全な取扱いの方策

５　作業員の安全確保のための方策